

楽しい絵手紙



私の絵手紙との出会いは、数年前体調を壊し落込んでいた頃のことです。何か心のリハビリになる習い事は無いかと思い、近所の友人とサンコアの絵手紙教室を見学に行き、温かい雰囲気に触れ入会しました。二年になります。今迄何気無く見ていた草花なども描いてみようかと、関心を持つ様になりました。今は月二回先生の御指導を受けながら、又教室の皆様方との会話の中、楽しく描いています。これからもせっかくなので絵手紙を描き続けていきたいと思っています。



筑後市和泉 酒井 照子

創部40周年を迎える“光友ヴィクトリー”

「ナイスピッチ」「ナイスバッティング」立花小学校のグラウンドでは、大きな声で一生懸命白球を追う小学生の姿を見ることが出来ます。光友ヴィクトリーは1976年に結成、今年で40周年の節目を迎え、卒部生は300名を超えております。現部員は立花小学校の1-6年生26名で、「3度目の全国大会出場」、そして「全国初勝利」を目標に、日々の練習に頑張っています。部員には「野球の楽しさ」「勝つことの喜び」「チームワークの大切さ」等を、野球を通じて体得すると同時に、「あいさつ」や「礼儀作法」など、野球以上に大切なことを指導しています。一方、試合や練習での一生懸命なプレーには、保護者、スタッフも忘れがちな純粋さ、素直さを思い出させてもらい、「少年野球」の良さを感じています。8月13、14、20日の3日間、立花町民グラウンドをメイン会場として「創部40周年記念大会」を開催します。県内外から約60チームが参加し、甲子園に負けない少年球児の熱い戦いが展開されます。皆様の応援をお願いします。このような素晴らしい野球ができる環境、健全育成の場を作って下さった関係者に心から感謝を申し上げます。これからも多くの皆様に愛され、ますます発展することを目標に頑張ります。光友ヴィクトリー（監督 井上義弘）では、新入部員を募集しています。保護者代表 牛島淳二（090-7298-3298）までお気軽にお問い合わせください。



パーキンソン病を長く患っておられるご主人に、影のように寄り添い共に生きる、私にとっては姉のような存在の人がいる。その人もまた風を受けて立つライオンのように、神々しい。その苦勞を微塵も出さず笑っている。十ヶ月の闘病の果てに私の命は繋がり、日常生活が戻ってきた。治療の副作用でまだ手足にしびれや痛みが残り、少し歩行が困難で無論、車の運転もできない。そんな私を守ってくれる人は愛すべき夫以外にはいない。二十四時間私のことを観察しつつサポートする。温かく少し悲し気なまなざしを感じている。よし、頑張ろう！決して狂わない障子の如き安定感で、夫は今日も立ち続けている。 蓉子

こんにちは。筑後警察署です。



筑後警察署から、夏休みを迎える子どもたちに対する犯罪被害の予防や危険の防止についてのお願いです。全国的に子どもに対する連れ去り事案が相次いでおり、筑後地区でも、子どもに対する声掛けや盗撮、つきまといなどの事案が発生しています。また、夏休みに入ると、山や海などヘレジャーに出掛ける機会が増えると思われませんが、同時に、転落事故や水難事故などに遭う危険も増えます。子どもたちを危険から守るためには、子どもたち自身が被害予防や危険防止の心構えを持つとともに、保護者の方や地域の方が、子どもたちの安全を守るために配慮することが大切です。

子どもたちには、①危険な場所に近づかないこと、②子ども110番の家など逃げ込める場所を確認しておくこと、③どこで誰と何時までに帰るか親に必ず話しておくこと、④防犯ブザーや防犯ホイッスルを常に持ち歩くこと等を教えてください。そして保護者の方や地域の方は、①子どもが集まる場所に目を配る、②一人でいる子どもに目を配る、③危険な場所にいる子どもに声を掛ける、といった点に留意してください。

矢部川源流・杉の里の四季 ⑤8

ヘクソカズラ(屁糞葛)[アカネ科]

花や葉、実などをもんだり、つぶしたりすると強烈な臭気があることから屁糞葛(ヘクソカズラ)という最悪の名前を与えられた可哀な植物である。花期は7月～9月頃で、花卉は白色、中心は紅紫色であり、その色合いが灸を据えた跡のようなのでヤイトバナ(灸花)の別名がある。果実は、しもやけ、あかぎれなどの薬として利用されてきた。 黒木町 松尾 重根



全国大会に5名出場します！

～「農業クラブ」県大会報告～ 八女農業高等学校

県内の農業を学ぶ高校生が日頃の学習成果を競う福岡県学校農業クラブ連盟の年次大会が去る6月に行われました。大会の何ヶ月も前から生徒たちは準備をし、毎日遅くまで練習を重ねてきました。その結果、昨年に劣らぬ優秀な成績を収めることができました。 ●農業鑑定競技 最優秀(全国大会出場)5名 「農業部門」生産技術科3年 西田 憲紘 「園芸部門」システム園芸科3年 原 萌香 「畜産部門」生物利用科3年 岩永 竜弥 「食品部門」生物利用科3年 立山 加奈 「生活部門」生活科学科2年 近藤 佳奈 ●スローガン 特選 生産技術科3年 平田 ひなの 農業鑑定競技は出場した5部門すべて最優秀を受賞しました。他にも、プロジェクト発表3チーム、意見発表1名、鑑定競技4名が優秀賞を受賞しました。 全国大会は10月に大阪府で開催されます。最高の賞を目指して、さらに頑張りますので、応援よろしくをお願いします。



プロジェクト発表の様子



8月の校内販売所(みらい館)の開館日 2日(火)、5日(金)、9日(火)、12日(金)、16日(火)、19日(金)、23日(火)、26日(金) 販売時間は、10時30分～12時30分です。ご来館お待ちしております。

眩き 守る人

夕方、仕事から家へ帰る道すがら、いつも目にする光景があった。八十年代のご夫婦だろうか。車椅子には奥さん、押すのはご主人。春夏秋冬のこの夕暮れ時の散歩は、お二人の日課となつていらっしゃる。私の知っている顔ではない。何処からともなく現れて、すうっとふいに何処かへ去ってゆく二人。時折その歩みを止めてご主人が奥さんの顔を覗き込み、何か話しかけている。車椅子の奥さんの穏やかな表情が喜びに満ちていて、一瞬お互いの信頼と愛情が伝わってくる。私はいつも嬉しくなつて口元が緩み、そして目頭が熱くなる。その守る人は凛として立っている。